添付文書

作成年月日２００２年　９月１０日（新様式第１版）
改訂年月日２００６年　３月３１日（第２版）
改訂年月日２００８年　３月２１日（第３版）
改訂年月日２０１４年１２月１８日（第４版）

届出番号 13B2X00206000023

機械器具　２２　検眼用器具
一般的名称　手動式視野計
一般医療機器（クラスⅠ）　コードＮｏ16919000

販売名　**手動式視野計**（東大式視野計、小川氏視野計、フェステル氏視野計）

【禁忌、禁止】
本品を曲げ、切削、打刻等二次加工は絶対にしない事

【形状，構造及び原理】
本器は顎台と半径３００ｍｍの半円弓に目盛を施した視野計測面より構成されている。指示棒又は視標を計測面に指示し視野を計測する。



東大式視野計
670×603×450ｍｍ



小川氏視野計
525×280×545ｍｍ



フェステル氏視野計
525×280×545ｍｍ

【使用目的又は効果】
視野の計測
計測範囲　周囲　０～３６０度
　　子午線　０～９０度
　　顎台

【使用方法】
（１）　患者の下顎を顎台の上に置き顎台の高さを調節して、患者の検査眼が計測面の中心点（白ポッチ）に来るようにします。（顎台に付いている支柱の先端の白球を検査眼の下頬に位置します）
（２）　他眼を覆い顔面を正しく前方に向け被検査眼で弓の中央の０度の所に有る白ポッチを注視させます。
（３）　視野視標を半円弓の端（９０度）から半円弓の内面に沿って徐々に中央に向かって移動し、その視標がまさに視界に入ろうとする境界を定め、その度を視野記録用紙に記入します。
（４）　次いで半円弓を視線を軸として４５度回転し順次に上下左右ならびに斜めの８方向について、同様に記録します。
（５）　視野視標は通常、白１０ｍｍを使用しますが、別売で 1.25、2.5、5、10、20ｍｍが各々の大きさに白、青、黄、赤、緑がございます。
（６）　記録用紙は弊社石原式視野検査用紙が便利です。
（７）　健常視野は白色がもっとも広く、青がこれに次、緑が最もせまい、視野の周辺部は全ての色に対して色覚が無く、次いで部分的に色覚の無い部分があり、色覚が完全なのは、中心の約３０度以内の部です。
（８）　注視点の外方約１５度、下方３度の位置に直径約５度の大きさを有する概ね円形の視野の欠損部、マリオットの盲点があります。

健常視野は概ね下記のとおりです。

	上	内	下	外
白	６０	６０	７０	１００
青	５０	５０	６０	９０
赤黄	４０	４０	５０	８０
緑	３０	３０	４０	７０

【使用上の注意】
（１）　本器は金属と樹脂よりなっており、落下等による破損にご注意ください。
（２）　本器及び患者に異常等があった時は使用を中止し適切に処置して下さい。
（３）　患者に疲れ等が有りましたら、休息をとってください。
（４）　医療に精通した者のみが使用すること。
（５）　視野の診断は医師が行ってください。

【保管方法及び有効期間】
常温、常湿、ほこりの少ない所にカバーを掛けて保管して下さい。
使用期限は特にありませんが、通常６年程度をめどにして下さい。

【保守点検に係る事項】
視野計測面はなるべく触れないようにして下さい。
破損した場合は修理に出してください。

【包装】
一台単位

【主要文献及び文献請求先】
氏名　株式会社　半田屋商店
住所　〒113-0033　東京都文京区本郷３－３７－４
電話　03-3811-0087
FAX　03-3818-9695

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】
氏名　株式会社　半田屋商店
住所　〒113-0033　東京都文京区本郷３-３７-４
電話　03-3811-0087
FAX　03-3818-9695